



活動や関連動画は市ホームページで発信します。

特集



四條畷のいいところ どんどん発信します 四條畷市PR大使 就任!

「もっとたくさんの人に四條畷を知ってもらいたい」「市民の皆さんがもっと愛着をもてるまちにしたい」という思いから、市の魅力を市内外に積極的に発信する四條畷市PR大使を4月1日に創設しました。新型コロナウイルス感染症の影響で延期になっていた任命式が7月15日(木)に開催され、大使に就任した市出身・在住の絵本作家・谷口智則さんと、市出身のお笑い芸人・稲田直樹さん(吉本興業所属)が、今後の活動の意気込みを語りました。まちで見かけるサンタのオブジェでもおなじみのアーティスト・谷口さんが描く地元の未来とは。そして、四條畷で生まれ育った「なわてっ子」稲田さんは故郷をどう盛り上げていくのか。



任命式の様子や大使2人からのメッセージを動画でも紹介しています。(市公式YouTube)

これまで、四條畷市観光大使として市のPRに貢献して下さった皆さんには、「四條畷市名誉大使」として引き続き本市を応援いただきます。

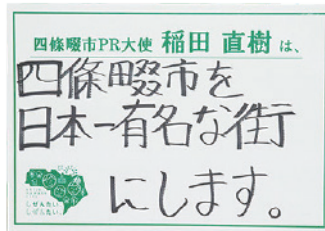


稲田直樹さん

いなだ なおき

プロフィール

1984年生。お笑いコンビ・アインシュタイン(吉本興業所属、相手は河井ゆずる)のボケ担当で、芸風は主に漫才。コンビ・個人で受賞歴が豊富(2018年・第48回NHK上方漫才コンテスト優勝など)。またテレビ・ラジオ番組へ多数出演しているほか、YouTubeやInstagramなどのSNSでも積極的に発信を行っている。



稲田さん|今後の活動の意気込み

谷口智則さん

たにくち ともり

プロフィール

1978年生。20歳のとき独学で絵本を作り始め、大学で日本画を専攻し空間や色調を活かした作風を確立。多数の絵本を国内外で出版するほか、各地の図書館や百貨店などの装飾も手掛ける。自身の絵本に関連して制作したサンタクロースのオブジェを市内に複数設置し、市の魅力づくりに貢献。平成24年から昨年度まで、四條畷市観光大使も務めた。



谷口さん|今後の活動の意気込み

2人のコラボにも期待してください

「日本一有名なまちに」と大胆な意気込みの稲田さん。会見を前に市内でPR動画の撮影を行い、「素敵なお店や見てまわるところが多く、あらためていいところやなと思った」と嬉しい感想を話してくれました。四條畷市サポート寄附(ふるさと納税)事業にも貢献したいと抱負を語った稲田さん、動画撮影で訪れたお礼品事業者の宿について、「めちゃめちゃいいところで、帰省したら是非泊まりたい。実家には飼っている犬がいて、犬アレルギーで体調を崩してしまっんです...」と、会場の笑いを誘いながら「そく魅力はPR!」その後も稲田さんが発言するたびに笑いがあふれる、楽しい記者会見となりました。



PR動画の撮影中、まちの未来をかけて四條畷神社でひいたおみくじは大吉! この日は天気にも恵まれ、幸先のよいスタートを切りました。

市の魅力アップのカギとして掲げたのが「アート」。

谷口さんは、自身の絵本にちなんだサンタのオブジェを公共施設やお店などに設置する、『100にんのサンタクロースプロジェクト』に取り組んでいます。「2025年(令和7年)の大阪万博までに100体置いて、海外からのお客様にも見てもらえるようにしたい」と抱負を語りました。さらに、「もう一人の大使・稲田さんと『稲田サンタ』を作る企画も発表! アートでみんなが笑顔になる全国唯一のまちにしたい」と話しました。

また、市に縁のある楠正行の絵など、さまざまなアートのまちの風景を彩ってくれています(25ページに掲載)。近々市の施設に新たなアートが誕生するかも。お楽しみに!



絵本『100にんのサンタクロース』(右)。サンタのオブジェは市内に45体(8月3日時点)あり、市役所にも市制施行50周年を記念した「なわてサンタ」(左)が。

